

平成 23 年

第 7 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成23年度第7回仙北市議会定例会の開会にあたり主な事項についてご報告をさせていただきます。

◇はじめに

1 1月3日市民会館において、ホール天井照明ボックス点検用蓋落下事故が発生しました。ここに、状況の報告をさせていただくと共に、被害に遭われた方及び当日会場におられた中学生をはじめ関係者、市民の方々に深くお詫びを申し上げます。

現在、警察で事故原因について調査中であり、安全が確認されるまで市民会館の利用を中止させていただいております。警察への報告が遅れたこと、また安全確認が万全といえない状況で発表会を続行したことは、深く反省すべきことと受け止めております。

事故当日は、午後2時30分から生保内中学校の吹奏楽部と美術部の合同発表会が開催され、中学生を含む約300人が会場内におりました。演奏会の第1部と第2部の間の休憩中である午後3時25分頃、座席後部付近の天井（高さ約6.8メートル）から天井照明用ボックス点検用蓋の石綿セメント板2枚が落下し、その一部が60歳代の女性にあたりました。職員がすぐに近くの市立田沢湖病院へ搬送し、応急処置の後、専門医師のいる市立角館総合病院へ搬送しております。診断の結果は、左肩鎖骨骨折でした。

なお、近くにいた中学生にも落下物の小さな破片があたったことが後日判明しましたが、幸いにもけが人はなかったとお聞きしております。

会場では、安全確保のため落下位置周辺をロープで規制し、職員が、近くに座っていた観客を別の席へ誘導し、周辺を十分に監視しました。会場内にアナウンスで状況を説明した後、発表会を続行し午後5時前に終了しました。

翌11月4日に仙北警察署に事故報告をし、現場検証が行われています。また、市民会館建設を担当した設計業者に連絡をし、現地

調査と事故原因の調査を依頼しています。

設計業者から11月8日に報告書が提出され『原因は予想以上の「横揺れ」「縦揺れ」や「ねじれ」現象が発生し蓋に亀裂が生じ、その後、材料の経年劣化や振動によって亀裂が大きく広がり落下したものと考えられる』ということで、天井照明ボックス改修工事と天井裏点検等の補修、改修方法が示されました。

この報告書に基づき、改修工事と点検を早急に行い安全確保したうえで、できるだけ早い機会に市民会館を再開できるようにしてまいります。

危機管理マニュアルの徹底がなされていないことで、市民には大変ご迷惑をかけることになりました。今後このようなことが起こらないよう安全管理に十分注意を払い、危機管理を徹底し、安心して利用していただけるよう努力してまいります。

【教育指導課】

◇被災地からの小・中学校転入児童生徒について

被災地からの市内小・中学校への転入児童生徒は現在8名です。

学校別の内訳は、生保内小学校4名、角館小学校3名、西明寺小学校1名の合計8名（男3名、女5名）で、県別では福島県から6名、宮城県から2名となっております。

なお、幼稚園については、生保内幼稚園に4名、神代幼稚園に3名で合計7名（男5名、女2名）、県別では福島県から6名、宮城県から1名が入園しております。

◇市内奨学資金制度の一本化について

現在の市内奨学資金制度は「角館町育英会」と「田沢湖町奨学資金貸付基金」及び仙北市の一般会計で実施している「仙北市奨学資金」の3種類が存在しております。貸付金額、手続き、貸付・償還方法などに多少違いがあり、利用者である市民にとって分かりにくく、ご不便をおかけしております。

これを「仙北市育英奨学基金制度」として一本化するため、角館町育英会総会の承認を得、本定例会に「仙北市基金条例の一部を改正する条例」の提案をしておりますのでよろしくお願いいたします。

◇仙北市小中学校教育研究会研究大会の開催について

11月8日に西明寺小・中学校で、市内小・中学校の教職員190人を集め、公開研究会を実施いたしました。

これは北浦教育文化研究所が中心となり、仙北市の教職員で組織している仙北市小中学校教育研究会が主催する形で開催されたもので、市内教職員が一堂に会した授業研究会は、仙北市になってから初めてのことです。

当日は、西明寺小・中学校の全学年の公開授業、授業分科会、全体会を行いました。西明寺小・中学校の学力向上に向けた取組を中心にしながら、各校の実践について熱心な協議を行い、課題や目指す授業について共通理解を深め、仙北市小中学校の更なる活性化と教育力向上にむけて大きな成果を上げ終了いたしました。

【生涯学習課】

◇仙北地域公民館大会・大仙仙北地区生涯学習推進研究大会について

10月5日に仙北地域公民館大会・大仙仙北地区生涯学習推進研究大会が「過去から学び、今を見つめ、未来へ」のテーマで、公民館関係者や社会教育委員、生涯学習奨励員等約300人が、仙北市民会館に参集し盛大に開催されました。

公民館が地域に果たすべき役割や新たな時代の流れに起因する様々な課題について、基調講演や活動事例報告などにより、大きな成果を上げることが出来ました。

◇仙北市文化祭について

市内各地区において文化祭が盛大に開催されました。

角館地区が10月23日から24日まで角館交流センターで、田沢湖地区は10月29日から30日まで生保内市民体育館で、西木地区は11月4日から5日まで西木温泉クリオン多目的ホールと隣接の体育館において、日頃の芸術文化活動の作品など数多くが展示・披露され、延べ約1,950人が鑑賞しました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇学校図書館の環境整備について

学校図書館の環境整備を図るため、6月10日から市内小中学校の蔵書データ入力を順次進め、第1期分の入力を11月8日までに全校について完了しております。今後は各学校の郷土資料のデータ化を年度内に完了する予定で、引き続き蔵書の刷新及び充実と、図書の有効活用に向けて支援してまいります。

また、「学校図書館管理システム及び学校公共連携横断検索システム」の構築を9月29日に完了し、角館小学校は10月18日から、角館中学校は10月20日から、桧木内小学校は11月11日からシステムの稼働を開始しております。今後は各学校からの要望に応じて、学校図書館システム校内研修会を開催し、来年1月末までに全校のシステム稼働に向けて取り組んでまいります。

◇新潮社記念文学館の展示について

10月1日から11月23日開催の三館合同企画「芹沢銈介展」において、本館では装丁、絵本、挿絵、文字意匠をテーマに展示しております。多彩な文様やデザインを施した作品を通して、多くの方々に人間国宝染色家芹沢銈介の遺した美の世界を鑑賞いただきました。期間中の入館者は1,527人です。

また、11月8日に秋田県公文書館で開催の「市町村公文書・歴史資料保存利用推進会議」において、「公文書館巡回展『戦国時代の

秋田』展開催についての事例報告をしております。

今後も県内外の関連施設の協力を得て、新たな企画展の発掘に努めてまいります。

【スポーツ振興課】

◇第26回田沢湖マラソン大会について

仙北市田沢湖の秋のスポーツイベントとして定着している田沢湖マラソン大会が26回目を迎え「走りつづけよう！東北」をスローガンに、9月18日に開催され、全国各地から4,926人のランナーが参加しました。

大会には元マラソン選手の千葉真子さんも招待ランナーとして参加し、降りしきる雨にもかかわらず参加選手を励まし元気を与えてくださり、また、沿道につめかけた大勢の応援の方々にも力強い走りを見せるなどして、大会を盛り上げていただきました。

◇第66回国民体育大会並びにカヌースラロームジャパンカップについて

第66回国民体育大会が山口県で10月2日から開催され、秋田県代表選手として出場した三浦裕芽子選手（角館町上菅沢在住）が、成年女子自由演技馬場馬術競技で優勝を果たし、成年男子馬場馬術競技で阿部大輔選手（角館町小勝田在住）が4位入賞しております。少年男子馬場馬術競技に出場した小澤勝芳選手（角館町小勝田在住）は第3位の成績を収めました。

また、秋田県体育協会よりテクニカルアドバイザーとして、本市に派遣されている佐々木翼選手（角館町中町）が、カヌーワイルドウォーター・スプリント競技で準優勝しております。

佐々木翼選手はさらに、2011年カヌースラロームジャパンカップ・カヤック競技においても、第1戦（4月9日富山県）から最終戦（10月23日愛知県）において3回の優勝を果し、総合優勝の成績を収めております。

◇スポーツ少年団活動について

第9回東北学童軟式野球新人秋田県大会で全県優勝を飾り、秋田県代表として10月8日から開催の東北大会（山形県米内沢市）に出場したスポーツ少年団「角館マックス」が見事3位の成績を収めました。また、同日に開催の第17回東北小学生バドミントン大会（山形県山形市）に出場した「バドミントンJr」代表の生保内小学校2年生三浦悠選手も大健闘しております。

◇公共スポーツ施設活性化事業について

公共スポーツ施設活性化事業として、子供から高齢者まで幅広く施設を利用していただくため、玉川河川公園を会場にサッカー及びグラウンドゴルフ教室を実施し、スポーツの普及・振興及び健康増進に取り組みました。10月26日の教育委員会主催のグラウンドゴルフ大会には、小雨の降る悪天候にもかかわらず市民160人の参加をいただきました。今後も、サッカーやグラウンドゴルフなど屋外多目的広場として活用していただけるよう環境整備に努めてまいります。

【文化財課】

◇防災訓練の実施について

11月6日に関係機関並びに地元住民の協力により「秋の火災予防運動」の一環として、田沢湖地区「国指定重要文化財草薨家」、角館地区「角館伝建群地内」、西木地区「県指定有形文化財大国主神社」を会場に防災訓練を実施しております。総勢約120名の参加をいただき、先人が築き後世に伝えるべき貴重な文化財の防火意識を再確認していただきました。

◇宇宙を旅した角館のシダレザクラ植樹について

国際宇宙ステーションに255日間滞在し、地球を4,080周

して平成21年7月に宇宙飛行士若田光一さんと共に帰還した「天然記念物角館のシダレザクラ」の苗木を、11月21日に角館小学校正面玄関前に植樹しました。

これは、3年前の平成20年6月に角館小学校3年生の児童が採取し、宇宙を旅した種で、これを樹木に詳しい地元の佐々木左年さんが2年間かけて、発芽させ苗木までに育ててくれたものです。植樹をしたのは3年生の時に種を採取した子供たちで、来春卒業する記念に合わせ行ったものです。

【平福記念美術館】

8月12日から9月25日まで開催しました抽象画家の「小川恒雄展」は、1,699人の入館者がありました。終了後、展覧会開催記念として、絵画5点を寄贈していただきました。寄贈作品は、仙北市の財産として大切に活用させていただきます。

10月1日から11月23日まで開催しました三館合同企画の「芹沢銈介展」は、3,761人の入場者があり、県外からも多数お出でいただき好評を博しました。

12月5日からは、第34回の児童生徒県南美術展を開催いたします。県南の小中学校98校から1,218点の出品があり、12月1日に作品審査会を行い、特賞等の受賞作品を決めることによりしております。

◇おわりに

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます、教育行政報告といたします。